



2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
 コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 永嶋 秀和
 (氏名) 岡田 一男
 TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	7,924	19.1	1,592		2,063		1,721	
2019年6月期第2四半期	6,654	31.9	838		1,375		998	

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 1,707百万円 (%) 2019年6月期第2四半期 1,077百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	127.08	
2019年6月期第2四半期	73.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第2四半期	52,037	7,542	14.4	550.66
2019年6月期	53,346	9,562	17.8	702.38

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 7,489百万円 2019年6月期 9,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		25.00	25.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,536	32.5	2,484	7.6	1,640	12.4	502	20.3	37.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	13,601,000 株	2019年6月期	13,518,600 株
期末自己株式数	2020年6月期2Q	76 株	2019年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	13,545,847 株	2019年6月期2Q	13,517,532 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しました。消費税率引上げの影響による消費者マインドの低下や、長期化する米中通商摩擦の動向等が懸念されるものの、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善、政府の各種政策に支えられ引き続き緩やかな回復が継続すると期待されております。

当社グループが手掛けるホテル業界におきましては、国内宿泊施設の稼働率は全国的に上昇傾向にあり好調に推移しました。2019年の世界海外旅行観光客数は15億人に達し、訪日外国人客数においても、日韓情勢を要因に伸び率が鈍化したものの、3,188万人を越え過去最高を更新しました。急激な客室供給増加による競争も懸念されるものの、新規就航や増便等を背景に中国をはじめとした東南アジアからの訪日数が2桁の伸び率を記録した他、1～9月の国内の宿泊旅行者の割合が前年比6.3%増加しました（出典：UNWTO、日本政府観光局(JNTO)及び国土交通観光庁）。当社グループでは、「(仮称)京都Global HOTEL Project」のオペレーションパートナーとして、株式会社Plan Do Seeと業務提携いたしました。今後は両社のノウハウを融合させ、他社との差別化を図りホテル運営の躍進に努めるとともに、既竣工及び今期竣工予定物件の販売を随時進めてまいります。

不動産業界におきましては、首都圏分譲マンションは2019年供給戸数31,238戸と昨年から15.9%の減少、価格(単価)は7年連続で上昇する中、契約率は僅かですが回復し、首都圏ファミリーマンション、都区部のコンパクトマンションは好調に推移しております（出典：数字は不動産経済研究所資料）。当社においても順調に販売活動を行っております。収益物件についても、低金利での良好な資金調達環境を背景に投資家の不動産投資意欲は旺盛であり、都心部の収益物件は流動性の高い状態が継続しております。当社におきましても、引き続き首都圏実需マンション、投資物件の仕入れに積極的に取り組んでまいります。

また、新築分譲戸建につきましては、価格は下降傾向にあり、都心回帰、団塊世代の戸建からマンション住まいへの移行、購買意欲のある若年層のマンション志向が強くなっており、これらを背景に当社の戸建事業は、物件を厳選し、開発抑制をする方針で進めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高7,924百万円（前年同期比19.1%増）、営業損失1,592百万円（前年同期は838百万円の営業損失）、経常損失2,063百万円（前年同期は1,375百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,721百万円（前年同期は998百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルレーナ浦和常盤」、「ウィルローズ小岩」、「ウィルレーナ東十条」などの引渡等により合計61戸、及び収益物件2物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,551百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益78百万円（前年同期比81.5%減）となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、当第2四半期連結累計期間における引渡実績はありません。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高616百万円（前年同期比278.7%増）、営業損失1,110百万円（前年同期は825百万円の営業損失）となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「江戸川区江戸川プロジェクト」、「新宿区山吹町プロジェクト」、「世田谷区代田プロジェクト」等、分譲72戸、請負工事30戸、計102戸、及び収益物件8物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高4,230百万円（前年同期比14.1%増）、営業損失1百万円（前年同期は31百万円の営業損失）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部41物件69戸、東京都下2物件2戸、埼玉県8物件122戸、千葉県1物件1戸、山梨県3物件14戸、茨城県1物件3戸、合計56物件211戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高302百万円（前年同期比210.9%増）、営業利益66百万円（前年同期は128百万円の営業損失）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2019年12月31日現在のマンション管理戸数が3,534戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高219百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益21百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高116百万円（前年同期比33.3%増）、営業損失38百万円（前年同期は38百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,308百万円減少し、52,037百万円となりました。負債については前連結会計年度末から710百万円増加し、44,495百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から2,019百万円減少し7,542百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が5,769百万円減少、仕掛販売用不動産が4,751百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が1,597百万円増加、買掛金が424百万円減少、及び未払法人税等が482百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が2,059百万円減少したことによるものであります。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5,827百万円減少し4,159百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失2,035百万円、法人税等の支払額549百万円、たな卸資産の増加額4,949百万円、仕入債務の減少額424百万円を主要因として、6,722百万円の支出（前年同期は13,654百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付けによる支出245百万円、有形固定資産の取得による支出85百万円を主要因として、339百万円の支出（前年同期は906百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額800百万円、長期借入れによる収入11,232百万円、長期借入金の返済による支出9,372百万円、社債償還による支出1,361百万円を主要因として、1,277百万円の収入（前年同期比88.8%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期連結業績予想につきましては、2019年11月18日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

当連結会計年度におきましては、第4四半期に全体の約7割の引渡しが集まるため、契約進捗のお知らせをいたします。

当第2四半期連結会計期間末の物件販売における契約進捗については、以下のとおりとなります。

なお、ホテル運営・管理・その他の収入を除いた物件販売に係る売上高を基にしております。

	物件販売に係る 売上高 (通年予算)	契約進捗高	契約進捗率
マンション事業	9,399百万円	7,311百万円	77.8%
ホテル事業	24,377百万円	3,620百万円	14.8%
戸建事業	10,596百万円	5,482百万円	51.7%
販売代理事業	336百万円	326百万円	96.9%
合計	44,710百万円	16,740百万円	37.4%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,305,895	4,536,302
売掛金	532,791	123,099
完成工事未収入金	272,316	—
販売用不動産	12,539,587	12,744,825
仕掛販売用不動産	22,717,885	27,469,077
前払費用	538,137	703,065
その他	1,572,609	1,317,605
流動資産合計	48,479,224	46,893,977
固定資産		
有形固定資産	2,185,540	2,096,723
無形固定資産	3,285	6,265
投資その他の資産		
投資有価証券	567,469	539,758
破産更生債権等	218,749	218,749
長期貸付金	381,177	376,603
繰延税金資産	120,925	488,859
その他	1,674,594	1,700,413
貸倒引当金	△284,725	△283,825
投資その他の資産合計	2,678,189	3,040,560
固定資産合計	4,867,015	5,143,548
資産合計	53,346,240	52,037,525
負債の部		
流動負債		
買掛金	956,113	531,739
短期借入金	6,824,639	7,630,662
1年内返済予定の長期借入金	11,660,336	16,873,942
1年内償還予定の社債	1,522,000	316,000
未払金	314,925	262,409
未払法人税等	570,331	88,260
未払消費税等	86,920	41,076
前受金	713,471	999,417
賞与引当金	13,985	12,352
その他	499,091	300,379
流動負債合計	23,161,814	27,056,239
固定負債		
社債	395,000	540,000
長期借入金	19,560,207	16,207,139
繰延税金負債	402,532	406,528
その他	264,471	285,112
固定負債合計	20,622,211	17,438,779
負債合計	43,784,025	44,495,019

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,731	424,466
資本剰余金	1,350,960	1,370,695
利益剰余金	7,705,510	5,646,162
自己株式	△33	△33
株主資本合計	9,461,168	7,441,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,392	48,629
為替換算調整勘定	1,638	△418
その他の包括利益累計額合計	34,030	48,211
新株予約権	67,015	53,004
純資産合計	9,562,215	7,542,506
負債純資産合計	53,346,240	52,037,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	6,654,655	7,924,541
売上原価	5,438,404	6,361,248
売上総利益	1,216,251	1,563,292
販売費及び一般管理費	2,055,203	3,155,491
営業損失(△)	△838,951	△1,592,198
営業外収益		
受取利息	6,051	18,032
受取手数料	3,996	4,926
解約精算金	1,200	6,600
為替差益	28,408	—
受取地代家賃	15,576	5,399
その他	12,078	13,163
営業外収益合計	67,312	48,122
営業外費用		
支払利息	263,808	305,533
持分法による投資損失	111,924	19,923
支払手数料	187,078	126,506
為替差損	—	52,943
その他	41,442	14,737
営業外費用合計	604,253	519,645
経常損失(△)	△1,375,893	△2,063,721
特別利益		
投資有価証券売却益	—	27,968
特別利益合計	—	27,968
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,375,893	△2,035,752
法人税、住民税及び事業税	163,972	58,083
法人税等調整額	△541,726	△372,452
法人税等合計	△377,753	△314,368
四半期純損失(△)	△998,140	△1,721,384
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△998,140	△1,721,384

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△998,140	△1,721,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,941	16,237
為替換算調整勘定	△4,749	△2,057
その他の包括利益合計	△79,690	14,180
四半期包括利益	△1,077,830	△1,707,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,077,830	△1,707,204

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,375,893	△2,035,752
減価償却費	68,613	95,386
賞与引当金の増減額(△は減少)	507	△1,633
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△770	△900
受取利息及び受取配当金	△7,360	△18,887
支払利息	263,808	305,533
為替差損益(△は益)	△3,253	52,932
新株予約権戻入益	—	332
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△27,968
持分法による投資損益(△は益)	111,924	19,923
売上債権の増減額(△は増加)	△23,815	682,007
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,094,111	△4,949,707
前払費用の増減額(△は増加)	△221,529	△150,346
長期前払費用の増減額(△は増加)	64	△2,374
未収消費税等の増減額(△は増加)	△11,963	280,042
仕入債務の増減額(△は減少)	△251,615	△424,368
未払金の増減額(△は減少)	△94,330	△52,974
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,943	△45,843
未払費用の増減額(△は減少)	△83,249	△83,683
前受金の増減額(△は減少)	287,081	285,946
預り金の増減額(△は減少)	△81,200	△190,739
その他	203,249	324,329
小計	△12,317,786	△5,938,744
利息及び配当金の受取額	7,360	5,809
利息の支払額	△286,948	△290,686
法人税等の還付額	61,802	49,667
法人税等の支払額	△1,119,060	△549,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,654,632	△6,722,986

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	6,120	6,120
定期預金の預入による支出	△47,750	△53,340
貸付けによる支出	△450,400	△245,500
有形固定資産の取得による支出	△396,883	△85,870
無形固定資産の取得による支出	—	△4,007
差入保証金の回収による収入	30,772	34,047
差入保証金の差入による支出	△16,215	△67,914
出資金の払込による支出	△100	—
保険積立金の積立による支出	△2,101	△2,101
投資有価証券の取得による支出	△30,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	128,968
関係会社株式の取得による支出	—	△50,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△906,558	△339,598
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△546,394	800,692
長期借入れによる収入	16,437,860	11,232,600
長期借入金の返済による支出	△4,403,104	△9,372,061
社債の発行による収入	1,364,274	293,525
社債の償還による支出	△1,093,800	△1,361,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	375	25,127
リース債務の返済による支出	△741	△4,374
配当金の支払額	△338,521	△337,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,419,948	1,277,219
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,937	△41,703
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,165,180	△5,827,069
現金及び現金同等物の期首残高	10,727,776	9,986,952
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,562,596	4,159,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,396,921	162,840	3,706,654	81,805	219,149	6,567,371
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	15,570	—	15,570
計	2,396,921	162,840	3,706,654	97,375	219,149	6,582,941
セグメント利益又は損失 (△)	423,343	△825,045	△31,046	△128,445	28,904	△532,289

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	87,284	6,654,655	—	6,654,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,570	△15,570	—
計	87,284	6,670,225	△15,570	6,654,655
セグメント利益又は損失 (△)	38,382	△493,907	△345,044	△838,951

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△345,044千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△339,044千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,551,744	616,674	4,230,903	189,182	219,678	7,808,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	113,582	—	113,582
計	2,551,744	616,674	4,230,903	302,765	219,678	7,921,767
セグメント利益又は損失 (△)	78,197	△1,110,495	△1,772	66,227	21,027	△946,814

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	116,356	7,924,541	—	7,924,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	113,582	△113,582	—
計	116,356	8,038,124	△113,582	7,924,541
セグメント利益又は損失 (△)	△38,948	△985,763	△606,435	△1,592,198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△606,435千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△600,435千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。